

自己評価シート【五本木住区センター児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1-1 理念・基本方針

1-1-1 (1) 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
【判断基準】 (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
【自己評価】	実践例（取組や記録等）
□a)、 <input checked="" type="checkbox"/> b)、□c)	<ul style="list-style-type: none"> ・理念や基本方針について、児童館のパンフレットへの掲載などの周知には至っていない。 ・毎月の児童館だよりで、前月の児童館の様子や事業の目的などを掲載したり、地域との会議の中などで報告したりする事で、一定の理解は得ている。
1-1-2 (2) 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
児童館事業を行う際には、理念に基づき計画し、実施をしている。地域の会議や行事の際には、理念や基本方針に沿った事業の意図と実施結果などを丁寧に報告し、周知を図っている。	利用者に対してよりわかりやすく周知ができるよう、館内で方法を工夫する。

2、児童館の活動に関する事項

2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-1 (1) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
【判断基準】 (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。 (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	年間事業計画の中で、地域の子育て支援や子どもの意見を尊重した遊びの支援などについて盛り込んでいる。
2-1-(2) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。	
【判断基準】 (a) 児童館の施設特性を發揮している。 (b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。 (c) 児童館の施設特性を發揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児から18歳までの児童とその保護者が自らの意思で安心して利用できるよう心掛けている。 ・異年齢の子どもたち同士と一緒に過ごす場所となるよう環境を整えている。 ・異年齢の子どもたちが日常活動や事業を通して学年を超えたつながりができるよう働きかけている。
2-1-(3) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】 (a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 (b) - (c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・年に数回「こども会議」を実施し、子どもたちが自分の意見を言える機会を作るとともに、子どもたちの意見を日常活動や行事に取り入れている。 ・職員として、子どもの性別や個人差や国籍等による子どもの自尊心や人権に配慮して関わるように努めている。
2-1-(4) 児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
<ul style="list-style-type: none"> ・児童館に行けば、自分の遊びたいものがあり、子ども自身が主体性や自主性をもって異年齢の子どもたちと一緒に遊んでいる。 ・安心して、くつろいで遊べる居場所の一つになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の特性を活かしながら利用者のためにできることや子どもたちの成長過程に必要なものを模索して実施していく。

2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-(1) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行って
--

いる。	
【判断基準】 (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。 (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。 (c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから子どもの様子について職員間で情報共有を行い、子ども一人ひとりの発達状態を把握したうえで全職員で丁寧な対応ができるように努めている。 ・職員も子どもと積極的に関わり信頼関係を築きながら、利用者が困ったときや悩んだときに話ができる関係作りに努めている。
2-2-(2)	
子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】 (a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。 (b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。 (c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館のどの部屋においても子どもの自発的な遊びができるようにしている。職員が声をかけたり、間に入りサポートしたり、環境整備をするなど、子どもたちのやりたいことが実現できるよう努めている。
2-2-(3)	
子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
【判断基準】 (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。 (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。 (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>日常活動の中では、年齢関係なく各部屋の遊びを通して異年齢の仲間と遊ぶ姿が見られる。行事の時は子どもスタッフとなり、イベントの話し合いや活動を通して異年齢の仲間と一緒に取り組む姿が見られる。</p>
<p>2-2-(4) 遊びによる子どもの育成について</p>	
<p>良いと思う点</p>	<p>改善が必要だと思う点</p>
<p>遊びを通して相手の気持ちや考えを知ること、子どもたちの健全育成において必要な関わりを持てる機会となっている。 異年齢の子どもたちが遊びを通して関わりながら楽しく過ごすことができている。</p>	<p>子どもたちの健全育成のために必要なこととして、児童館の目的や方向性を理解しながら関われるよう職員のスキルアップが必要である。</p>

2-3 児童館の安全管理

<p>2-3-(1) 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。</p>	
<p>【判断基準】 (a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。 (b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。 (c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。</p>	
<p>【自己評価】</p>	<p>実践例（取り組みや記録等）</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/>a)、<input type="checkbox"/>b)、<input type="checkbox"/>c)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月「災害時初期対応マニュアル」「アレルギー対応マニュアル」に基づき避難訓練等を実施し、日常的に災害等に備えるとともに、子どもたちが自分で考えて行動できるようにしている。 ・「災害用伝言ダイヤル」や「安心でんしょぼと」など、いざという時に迅速かつ正確な情報提供をできるように訓練を実施している。また、自館の施設状況等に沿った危機管理のマニュアルに基づいて対応を行っている。
<p>2-3-(2) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。</p>	
<p>【判断基準】 (a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い実行している。 (b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要因分析と対応策の検討が十分でない。 (c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。</p>	
<p>【自己評価】</p>	<p>実践例（取り組みや記録等）</p>

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none">・ 日常的に実施している施設点検のほかに、地震や台風や大雪などがあつた後は必ず施設点検を行い危険箇所や壊れている場所がないか確認している。・ 地震や悪天候などの時には、児童の安全を確保し保護者に連絡をするなどの対応を実施している。・ 不審者対応やケガ対応、感染症対応については、「危機管理マニュアル」に準じて対応している。・ 地域、学校、PTA などと連携して、登下校路の安全点検に参加し、また地域安全マップの作成などを行っている。
--	---